

【翻訳】

SMG/APP 社の購入企業及び投資家へのアドバイザー

WWF インドネシア

2018年6月8日

シナル・マス・グループのアジア・パルプ・アンド・ペーパー社（SMG/APP 社）とそのパルプ材サプライヤーは、インドネシアのスマトラ島とカリマンタン島において 30 年にわたり、森林と野生生物の生息地を破壊し、泥炭湿地を乾燥させるための排水を行い、木材収穫とパルプ材用植林のための土地取得をめぐる地域社会と争ってきた。2013 年 2 月、APP 社は「森林保護方針」を発表し、森林破壊を中止すること及び「森林保護方針」に違反するサプライヤーとの取引関係を断つことを約束した。

WWF は、企業の森林管理パフォーマンスについて環境的責任、社会的便益及び経済的持続性の観点からの独立した客観的な検証を得るには、FSC®（Forest Stewardship Council®、森林管理協議会）による認証が最良の方法であると考え、SMG/APP グループ企業、関連会社及び木材サプライヤーのパフォーマンスの検証にこの認証を利用することはできない。これは 2007 年に APP 社が自然林破壊を理由に FSC から関係を断絶されたためである。このような論争の的となる企業は世界でも数少なく、また同社は FSC から関係を断たれた初めての企業である。

2017 年、AP 通信社は APP 社の多くの隠された企業間関係について報道し、持続可能性に関して公に約束したにもかかわらず、同社が自然林破壊に関与していることを明らかにした。2018 年 5 月 16 日に、グリーンピースは、独自調査により、APP 社と関係があるとは公表されていなかったが、実は同社やシナル・マス・グループと関係がある 2 ヶ所の伐採許可地において自然林と泥炭湿地 8,000 ヘクタールが APP 社の「森林保護方針」に違反して皆伐されたことが明らかになったとして、同社とのすべての関係を終了すると発表した。すでに 2015 年には、WWF とその他の市民団体によって、これら伐採許可地のうち 1 ヶ所の伐採権をもつムアラ・スンガイ・ランダック社が、深さ 3 メートル以上の泥炭湿地でオランウータンの生息地でもある保護価値の高い場所で、自然林の伐採を続けていると報告されている。

2018 年 5 月 30 日、WWF インドネシアもそのメンバーであるアンチ・フォレストマフィア連合は、SMG/APP 社が法人や個人の代理人を使って土地を拡大していた実態を詳細に示す報告書を発表した。アンチ・フォレストマフィア連合がこの報告書を発表したのは、このほど公布された大統領規則 13/2018 の実施を助けるためであり、同規則はインドネシアの全企業に対して実質的所有者を 1 年以内に報告することを義務付けている。SMG/APP 社はインドネシアの林業部門で群をぬく巨大企業グループであり、だからこそこの連合は SMG/APP 社の法令遵守面での透明性がガバナンス向上への重要な一歩であると考えている。

こうした展開がみられたこの半年間に、APP 社は FSC と長年にわたる関係断絶を終わらせるための交渉を続けてきた。FSC は、APP 社との関係断絶を終了するためのロードマップの作成を支援するためのステークホルダー・ワーキング・グループを設置した。このワーキング・グループは、NGO、労働組合及び企業関係者から成り、WWF はこのワーキング・グループのメンバーである。ロードマップは FSC のアソシエーション・ポリシーの違反再発を確実に防止し、且つこれまで環境と社会に与えた被害を確実に回復するために信頼に足り、達成可能であるべきと WWF は考える。ロードマップを意義あるものとするために、APP 社は傘下の系列・関係会社とサプライヤーをすべて公開し、その環境及び社会的フットプリントの全容を明らかにする必要がある。

APP 社は、自社のサプライチェーン上にないものも含め、インドネシアの全木材サプライヤーを見直し、さらに木材サプライヤーと自社間の金銭的關係を排除するために、これらサプライヤーの役員と自社の株主、取締役会、監査役会及び自社従業員との関係をすべて明らかにする予定である。このプロセスを 2018 年 6 月に開始するとコミットしたと発表した。WWF は、このレビューがアンチ・フォレストマフィア連合メンバーの市民団体の参加を得て完全に透明で独立した方法で行われるよう勧告する。そうすることで APP 社、シナル・マス・グループ及びその従業員やその他の代理人との関係すべてについて信頼性の高いアセスメントが可能になる。FSC とステークホルダー・ワーキング・グループはそのアセスメントを利用し、APP 社の環境及び社会的フットプリントの全容を明らかにできる。現在は FSC と APP 社の関係回復プロセスにおける重要な時期であり、信頼性のあるプロセスの実施のために、APP 社は FSC の要求する情報をすべて明らかにしなければならない。

さらに WWF は、企業と投資家に対し、APP 社が FSC との断絶関係を回復し、真に独立した第三者による定期的検証の結果、同社が FSC のロードマップの要求事項について十分な進捗を遂げたことが証明されるまで、SMG/APP 社及びその関係会社と取引をしないよう勧告する。

原文：WWF インドネシア

WWF Advisory to Buyers and Investors of Sinar Mas Group / Asia Pulp & Paper (SMG/APP)

<https://www.wwf.or.id/?66642/WWF-Advisory-to-Buyers-and-Investors-of-Sinar-Mas-Group-Asia-Pulp-Paper-SMGAPP>